

# 渡嘉敷村観光振興計画

(案)

平成 30 年 2 月

渡嘉敷村



## <目次>

1章 計画策定の基本的な考え方	1
1-1. 計画策定の背景と目的	2
1-2. 計画の構成と期間	3
2章 渡嘉敷村観光の現状と課題	5
2-1. 上位関連計画	6
2-2. 渡嘉敷村の観光状況	10
2-3. 渡嘉敷村の観光関連調査結果	14
2-4. 渡嘉敷村の観光課題の整理	25
3章 渡嘉敷村観光振興計画	27
3-1. 基本理念	28
3-2. 基本方針	29
3-3. 基本施策と取組みの体系	30
3-4. 具体的な取組み内容	31
3-5. 取組みの効果を検証するための目標値	49
4章 観光振興計画推進に向けて	51
4-1. 推進体制	52
4-2. 推進に向けて果たすべき役割	53
4-3. 進捗管理	54
5章 資料	55
5-1. 計画策定の経緯	56
5-2. 計画策定の策定委員	57
5-3. パブリックコメントでの意見	61



# 1章 計画策定の基本的な考え方

# 1 章 計画策定の基本的な考え方

## 1 - 1. 計画策定の背景と目的

渡嘉敷村は、豊かな自然に恵まれているとともに、特有の生態系、並びに固有の文化・歴史など、他にはない様々な観光資源を有しています。そんな中、平成 26 年 3 月 5 日には、渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の国立公園に指定されたことにより、慶良間諸島としても注目を集め、近年、観光客が増えています。

また、平成 28 年には、国立公園を世界水準のナショナルパークとしてブランド化することを目的とした「国立公園満喫プロジェクト」に選定され、これまで以上に外国人からの注目が高まることが予想され、それに伴った観光客の受入体制を整えていく必要があります。

その他、沖縄本島からのアクセスの良さ（泊港から高速船で片道約 35 分）も今後の観光振興に向けて期待できる強みと言えます。

一方で、現状の村内の観光客受入体制をみると、観光事業者によりバラつきはあるものの、飲食店営業の不安定さや、人員不足、外国語対応など未だ十分な体制が整っておらず、サービス面で多くの課題を抱えています。

また、観光客の増加に伴い、自然環境への負荷もかかることから、村の財産である自然資源を守り持続可能な観光資源の確立のため、自然環境保全に向けた取組みも同時に行っていくことが重要です。

これまで、渡嘉敷村の観光振興についての計画がなかったことで、様々な団体・事業者が無秩序に取組みを行っていましたが、本計画を立てることで、秩序立てて各種取組みを行い、よりよい観光振興を進めていくことができます。

以上のことから、本計画は、今後 5 年間に村が観光振興を進める上での基礎として策定するものです。

## 1 - 2. 計画の構成と期間

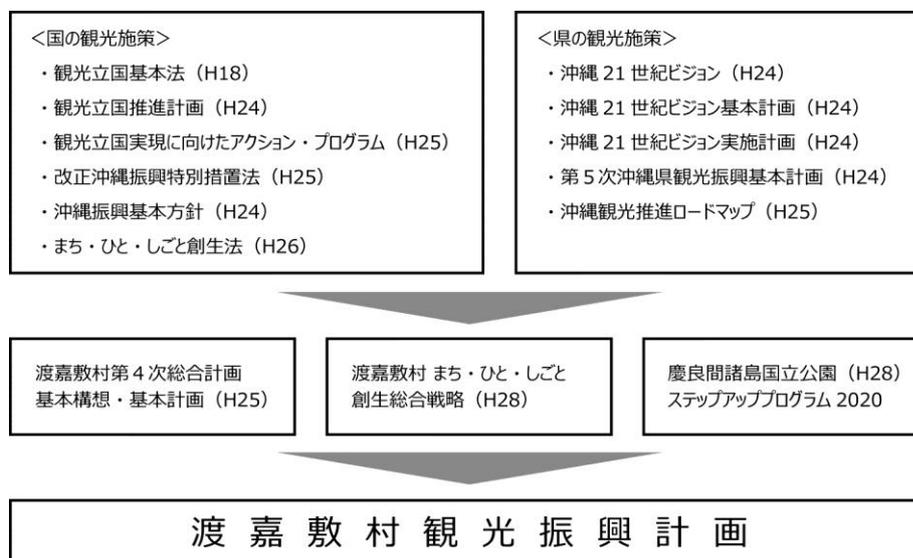
### (1) 計画の構成

渡嘉敷村観光振興計画は、「基本理念」「基本方針」「基本施策」「具体的取組み」で構成します。

### (2) 計画の位置づけ

本計画は、上位計画である「渡嘉敷村第4次総合計画」「渡嘉敷村 まち・ひと・しごと創生総合戦略」「慶良間諸島国立公園ステップアッププログラム 2020」に基づいた計画であるとともに、国や沖縄県の観光施策についても考慮して策定するものです。

#### ■ 計画の位置づけ



### (3) 計画の期間

本計画の計画期間は、平成 30 年度から平成 34 年度までの 5 年間とします。

また、本計画の取組みの進捗については、適宜確認し、必要に応じて見直しを図りながら進めていく予定です。



## 2章 渡嘉敷村観光の現状と課題

## 2章 渡嘉敷村観光の現状と課題

### 2-1. 上位関連計画

#### (1) 第5次沖縄県観光振興基本計画

沖縄県では、県の将来像を「世界水準の観光リゾート地」と設定し、将来像の実現に向けた施策の基本的な方向性と、圏域別の基本方向を示しています。

##### ● 将来像

#### 「世界水準の観光リゾート地」

洗練された観光地としての基本的な品質を確保するとともに、独自の観光価値を発揮することにより、アジア・太平洋地域における競合地との比較対照の中で「沖縄／OKINAWA」のポジションが確立され、国内外において高いブランド力を保持する観光リゾート地として認知された状態となっています。

##### ● 施策の基本方向

- ① 多様で魅力ある観光体験の提供
- ② 基盤となる旅行環境の整備
- ③ 観光産業の安定性確保
- ④ 効果的なマーケティング
- ⑤ 推進体制の再構築

##### ● 南部圏域の基本方向

南部圏域の離島地域においては、ダイビングやホエールウォッチングに代表されるブルー・ツーリズム、保養・療養型観光、交流拠点づくりや離島留学など、島々に特有の自然・景観、伝統・文化等の魅力を生かした交流人口の拡大及び農林水産業等地場産業との連携による地域活性化に向けた取組を積極的に推進し、離島ならではの体験・滞在型観光を促進するとともに、離島を含む広域周遊ルートの形成や受入環境の整備に関係機関と連携して取組みます。

## (2) 渡嘉敷村第4次総合計画

渡嘉敷村第4次総合計画は村の最上位計画として、本村が行う総合的な行政活動の基本となるものとして位置づけられています。

### ● 将来像

#### 「住むひと、訪れるひと、幸せを実感できる碧島 渡嘉敷村」

海と森の碧あふれる自然環境のもと、快適な生活を送ることができ、ふれあいの中で子どもたちが元気に育ち、ひととひとの結びつきのもと、みんなの笑顔が広がるむらを、新たな時代に向けた郷土のあるべき姿とし、これを村が目指す目標ととらえます。

これからも、豊かで様々な地域資源を活かして新しい価値を創り出し、村民の誰もが誇りに思える郷土を築いていきます。

### ● むらづくりの4つの基本理念

- ① 自然の恵み | 美しい風景を楽しむ碧島 (自然の魅力)
- ② なりわい | 手づくりのある碧島 (つくりだす魅力)
- ③ 暮らし | スローライフの碧島 (しまの時間が流れる魅力)
- ④ ひと | 交流で心満たされる碧島 (ひとのつながりの魅力)

### ● 観光・交流活動の振興

観光振興計画をもとに、交流人口の増加と地域活性化に向け、多様化、高度化する観光・レクリエーションと交流のニーズに即した多面的な取組みを一体的に推進し、観光・交流機能の拡充に努めます。様々な世代や地域団体のふれあいを豊かにするとともに、自主的な交流活動を通して、広域的な連携ができるよう活発な情報の発信に努めます。

#### <主要な施策>

- ① 観光・交流資源の整備・充実・活用・維持管理
- ② 第1次産業と連携した体験型観光の充実
- ③ PR活動の推進
- ④ 広域観光体制の充実
- ⑤ 地域間交流等多様な交流の促進
- ⑥ 移住政策の推進

### (3) 渡嘉敷村 まち・ひと・しごと創生総合戦略

渡嘉敷村 まち・ひと・しごと創生総合戦略では、目標年度を 2019 年（平成 31 年）とし、計画期間である 5 年間の取組みと、4 つの基本目標を定めています。観光振興については、基本目標 1、基本目標 4 の中で以下のように定めています。

#### ●基本目標 1

「<sup>しま</sup>碧島の風景と自然環境に調和したしごとをつくり、雇用を創出する」

渡嘉敷島周辺の海域は、ラムサール条約に指定されています。また、渡嘉敷島、前島の海岸線の大部分と周辺無人島は沖縄海岸国定公園に指定され、世界的にも貴重な自然とその保護が図られています。そのような豊かな自然環境を活用し、碧島の重要な産業である観光産業の持続的な発展を図るために、観光地域づくりを担う組織の育成を推進します。

また、自給的農家が主体の本村の農業については、環境に配慮した農業振興を図りつつ、地域特性に応じた付加価値の高い特産品の生産を推進し、渡嘉敷ブランドの構築を行います。

水産業については、加工品等特産品の開発と流通ルートの開拓を行い、水産物のブランド化を行います。

【数値目標】 特産品の開発→目標値：2 品（平成 31 年）

#### ●基本目標 4

「暮らしの安心を守り、やさしい<sup>しま</sup>碧島のしくみをつくる」

渡嘉敷村にしかない恵まれた自然環境を守り育てることを戦略の要とし、環境重視の特色あるむらづくりを行い、自然との共生による碧島のブランド化の推進とプロモーションを行います。また、慶良間諸島として地域が連携し、一体となった観光地づくりを行い、戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーションを行い、地域の魅力を高めることで観光を振興します。

村内では、生活の安心・安全の確保、質の向上を目指し、幼・小・中一貫教育による質の高い教育環境づくりや、高齢者も安心して暮らせる環境など、全ての村民にやさしい環境づくりを行います。

【数値目標】 地域活動への参加→目標値：90%（平成 31 年）  
※基準値 84.8%（平成 27 年）

#### (4) 慶良間諸島国立公園 ステップアッププログラム 2020

慶良間諸島国立公園は、平成 26 年 3 月 5 日に全国で 31 番目の国立公園として新たに指定されました。ステップアッププログラムは、慶良間諸島国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」とするため、慶良間諸島に適したコンセプトや目標を定め、具体的な取組や役割分担等について、2016 年度から 2020 年度までの 5 年間の計画期間とした“ロードマップ”として位置づけるものです。

##### ●テーマ

### 「<sup>ちゅ うみ けら ま</sup> 美ら海慶良間 - リトリート・海と島がつくるケラマブルーの世界 - 」

慶良間諸島においては、一度に受入られる利用者数に限りがあることから、大きな敷地に多様な付帯施設を擁し、多くの観光客を受入る従来型の「リゾート」の対極として、小規模ながら利用者一人ひとりの満足度を向上させることを目的としています。日常生活からリトリートし、ケラマブルーの海や島がおりなす美しい景観の中で、ゆっくりとした時間を過ごすこと、暖かみのある集落で人と人との交流を深めること、非日常的な空間で自然体験をすることなどを通して、利用者の一人ひとりが満足し、満喫し、活力を持ってそれぞれの生活に戻ることができるよう、そしてまた、疲れた時には戻って来ることができる第二のわが家となるよう想いをこめ、このテーマが設定されました。

※リトリート (Retreat) とは、日常生活から離れ、自分だけの時間や人間関係に浸ることで、自分を見つめ直すこと。  
また、少しだけ日常を離れて自分へのご褒美にゆっくりと過ごすこと。隠れ家。

##### ●目標

#### ①冬季の入域者の増加。それに伴う季節的利用変動の平準化

利用者数	平成 27 年度	平成 32 年度
冬季 (11 月～3 月)	19,755 人	34,000 人 ※約 14,000 人増
全体 (年間)	122,434 人	137,000 人 ※約 15,000 人増

#### ②良質な旅の提供 (利用者の満足度の向上)

慶良間諸島が有する自然・文化・気候・食等の豊富な観光資源を適切に保全しつつ、それらの魅力を十分に活用したサービスを提供する。

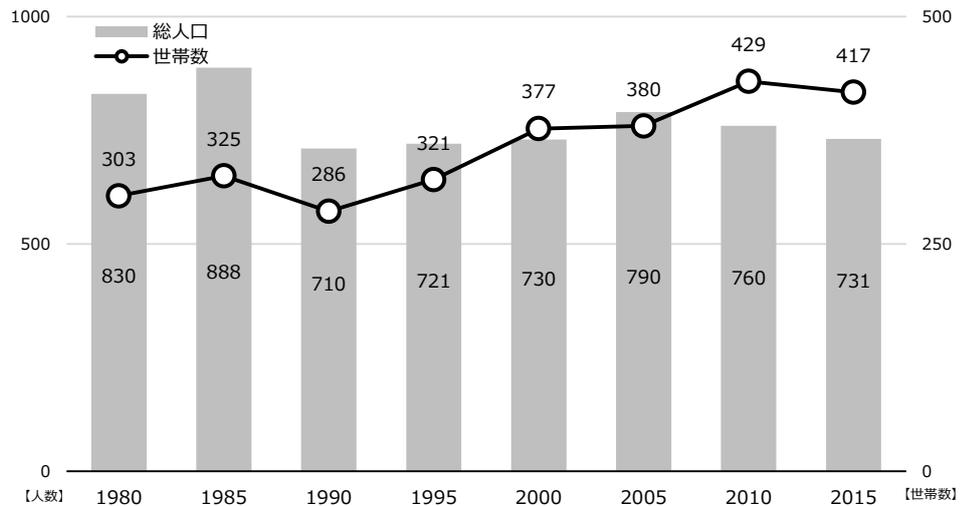
#### ③通年延べ宿泊日数の増加及び一人あたり連泊日数の増加

宿泊利用を推進していくことで、利用者一人あたりの旅行消費額を向上させる。

## 2 - 2. 渡嘉敷村の観光状況

### (1) 人口の推移

国勢調査によると、渡嘉敷村の人口は 2015 年度で 731 人、世帯数は 417 世帯となっています。1985 年には 900 人近くまで人口が増加しましたが、その後は概ね減少傾向にあります。また、人口が減少している一方で、世帯数が増えており、核家族化の進行が伺えます。

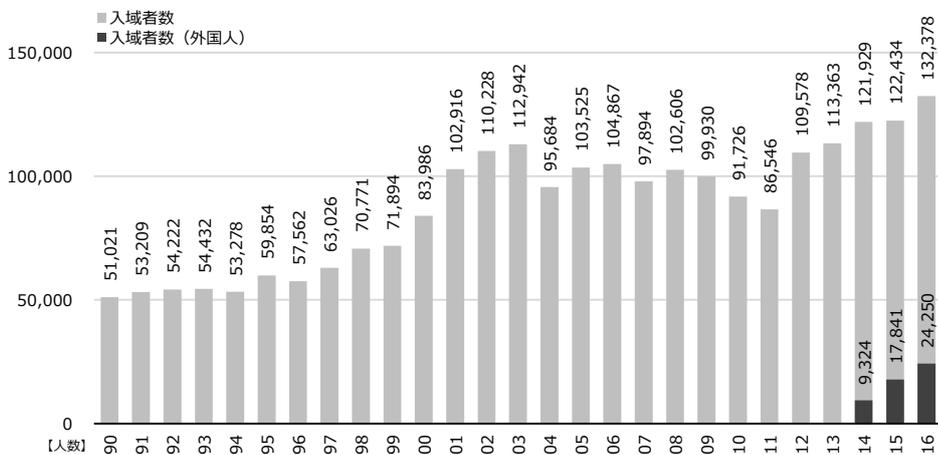


◇出典：渡嘉敷村 まち・ひと・しごと創生総合戦略

### (2) 入域者数の推移

#### ①年別の入域者数の推移

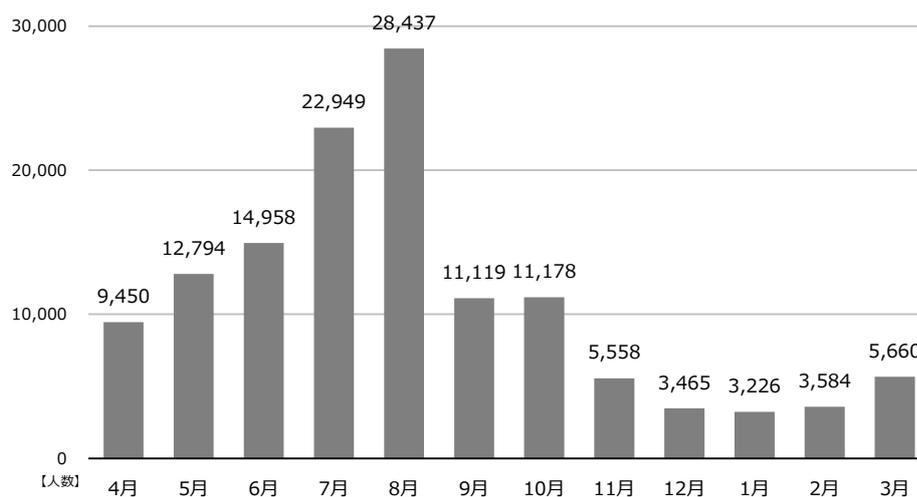
渡嘉敷島への入域者数は 1990 年から現在まで緩やかに増加傾向にあり、2016 年には 13 万人を記録しました。また、国立公園に指定された 2015 年には外国人の入域者数が前年度の約 2 倍に増加しており、今後も外国人入域者数は増加していくことが予想されます。



◇出典：渡嘉敷村 入域者調べ (環境協力税データベース)

## ②月別の入域者数の推移（2016年度）

渡嘉敷村の2016年度の年間入域者数は132,378人と、これまでに比べ最も多い数値になりました。内訳を月別にみると、8月の入域者数が最も多く、28,437人となっています。一方で、12月～2月においては、各月3,500人前後と8月の約12%となっており、月の入域者数に大きな差が生じています。



◇出典：渡嘉敷村 入域者調べ（環境協力税データベース）

## （3）観光資源

渡嘉敷村の観光資源は、山、川、海（ビーチ）に加え、渡嘉敷島周辺の11の島々など豊富にあります。また、古くから琉球と大陸を結ぶ、貿易の中継地であったことから、琉球文化やウタキをはじめとする琉球神道の文化財も多く残っています。さらには、第二次世界大戦に関わる歴史関連場所が多数点在するなど、その観光資源は多岐に渡ります。

### ●自然関連資源

項目	内容 ※代表的なもの
山	北山、アヲリ山、大見座山 等
川	渡嘉敷川、大川 等
ビーチ	渡嘉志久ビーチ、阿波連ビーチ 等
島	ハナリ島、ウン島、儀志布島、城島、前島、黒島、拝島、中島、端島、ナガンヌ島、クエフ島、神山島
植物	オオハマボウ・ユウナ、オキナワシャリンバイ、オキナワハイネズ、ヤマモモ、カンヒザクラ（寒緋桜）、クロツグ、クロヨナ、ゲットウ、ケラマツツジ、ツワブキ、テッポウユリ、テリハボク、ノボタン、ヒリュウシダ、コモウセンゴケ、ピロウ、フクギ 等

項目	内容 ※代表的なもの
陸の生物	メジロ、シリケンイモリ・イボイモリ、ベニアジサシ、オキナワキノボリトカゲ、イソヒヨドリ、オオゴマダラ、モンシロチョウ、リュウキュウアカショウビン、トノサマバツタ・ショウリョウバツタ、リュウキュウキジバト、リュウキュウヤマガメ、リュウキュウハシブトカラス、ヤギ、クロイワトカゲモドキ 等
海の生物	ムッチの貝、ナガウコの仲間、オキナワハクセンシオマネキ、ノギリガザミ、オニヒトデ、オオイワガニ・ツノメガニ、ヒメジャコガイ、ジャンメナマコ・クリイロナマコ、ウデフリクモヒトデ 等

●歴史・文化関連資源

項目	内容 ※代表的なもの
史跡・遺跡	クミチジ山（久米頂山）、クバンダキ、阿波連のクバ山、阿波連の力石（生活館中庭）、阿波連浦貝塚、海神宮、学問の世の神様の墓、グシク(あねき御獄)、鯉節製造工場跡、船越原遺跡（ふなこしばるいせき）、北ウタキ、赤間山の烽火台跡（ヒータティヤー）、渡嘉敷神社、白玉之塔、大谷辻歌碑・ウニギラマ伝説うふな一橋、伊江村民収容地跡記念碑 等
文化財	根元家の石垣、旧日本軍特攻艇秘匿壕、新垣筑兵衛由来のカジノキ群、集団自決跡地、にし山山頂から望む慶良間海峡、赤松隊本部壕

●観光施設関連資源

項目	内容 ※代表的なもの
自然関連施設	森林公園、阿波連園地、青少年旅行村 キャンプ場、青少年交流の家 海洋研修場、渡嘉志久海岸公園、阿波連植物公園 等
展望台	北山展望台（西展望台）、照山展望台、クバンダキ展望台、赤間山展望台（東展望台）、港の見える丘展望台、渡嘉敷林道展望台(アラン展望台)、阿波連園地展望台、前岳林道展望台
遊歩道	村道大谷線の遊歩道、照山園地遊歩道、見花原遊歩道

●体験・アクティビティ

項目	内容 ※代表的なもの
ツアー	日帰り海水浴プラン、日帰り海水浴&BBQ プラン、シュノーケルツアー、イエローサブマリン号の水中遊覧船、ハナレ島渡し観光 等
アクティビティ	ダイビング、フィッシング、バナナボート、ウェイクボード、シーカヤック、シュノーケリング、ジェットスキー、サップ、ハイキング 等

● イベント

開催時期	行事
1月3日	合同生年祝賀会
1月初旬・中旬	①成人式、②トリムマラソン、③駅伝大会
2月初旬	とかしきマラソン
3月28日	戦没者慰霊祭
(旧暦) 2月1日	海神祭
4月中旬	海開き
(旧暦) 3月3日	阿波連浜下り
(旧暦) 3月4日	渡嘉敷浜下り
(旧暦) 3月4日	ハーリー (渡嘉敷区)
(旧暦) 5月4日	ハーリー (阿波連区)
(旧暦) 6月25日	大綱曳き
7月下旬	とかしき祭り
8月中旬	あはれんまつり
9月中旬	敬老会
11月中下旬	とかしきまるごとフェスタ
11月中下旬	音もだち

● 特産品

項目	内容 ※代表的なもの
特産品	まぐるジャーキー、島むんゼリー ヤマモモゼリー、黒米、泡盛 渡嘉敷 等

## 2 - 3. 渡嘉敷村の観光関連調査結果

### (1) 渡嘉敷村の住民アンケート調査結果

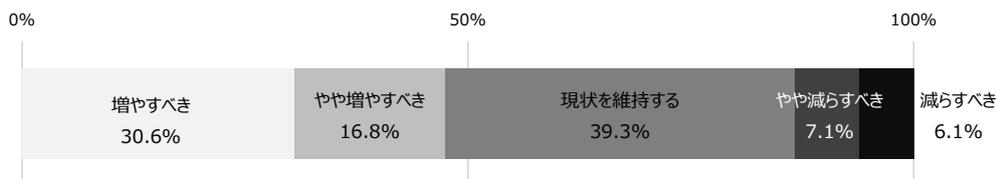
本村では平成 28 年度に、渡嘉敷村の住民に対して、現状の就業状況や観光客についての意向、また、国立公園指定についてのアンケート調査を行い、以下のとおり実施しました。

#### ● 調査実施概要

<調査対象> 渡嘉敷村在住の 18 歳以上の全村民  
(但し、高校生は除き、かつ、戸籍を残したまま村外に住んでいる人は対象外とする)  
<調査期間> 平成 28 年 8 月 10 日 (水) ～ 10 月 31 日 (月)  
<配布方法> 各区に調査票を配布し、各戸に配布  
<回収方法> 各区長が各戸より回収し、その後、未回収分は調査員が個別に回収を行った。  
<回収数> 221 票

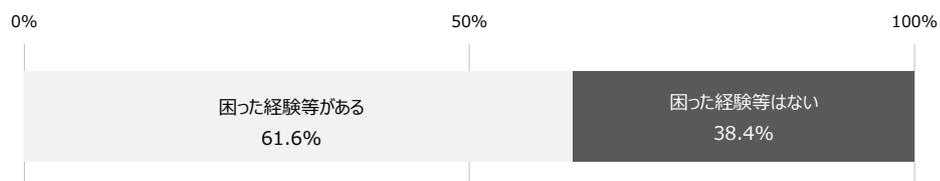
#### ① 観光客の増減意向

「渡嘉敷村は積極的に観光客を増やすべきだと思うか。」との設問に対して、「現状を維持する (39.3%)」が最も多く、次いで「増やすべき (30.6%)」となりました。「現状を維持する」と回答した理由としては、島の受入体制、環境面、観光客のマナー面を心配する理由が多く挙げられました。



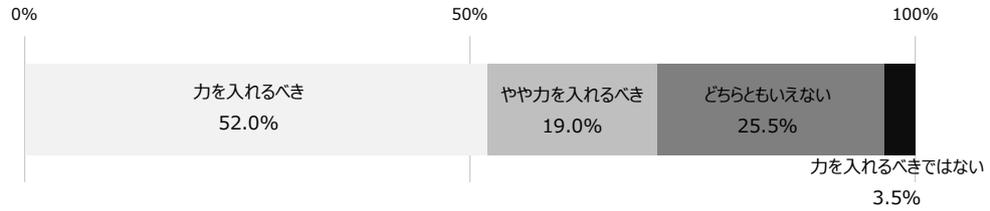
#### ② 観光客に対して困った経験の有無

「観光客で困ったことや危険・不安を感じたことはあるか。」との設問に対して、61.6% が困ったことや危険・不安を感じたことがあると回答しました。



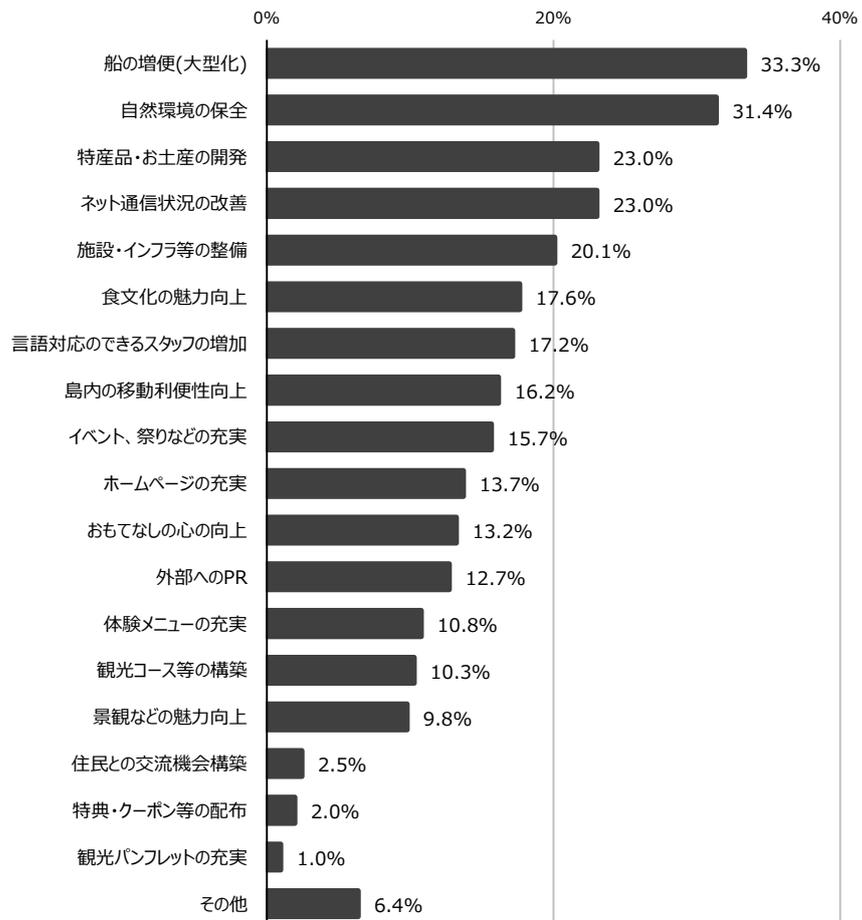
### ③冬期の観光の重要度

「渡嘉敷村は冬期の観光に力を入れるべきか。」の設問に対し、「力を入れるべき（52.0%）」が最も高く、次いで「どちらともいえない（25.5%）」となりました。



### ④観光に必要な施策

「観光に必要な施策は何か。」の設問に対し、「船の増便（大型化）（33.3%）」が最も高く、次いで「自然環境の保全（31.4%）」となりました。



## (2) 渡嘉敷村観光事業者アンケート調査結果

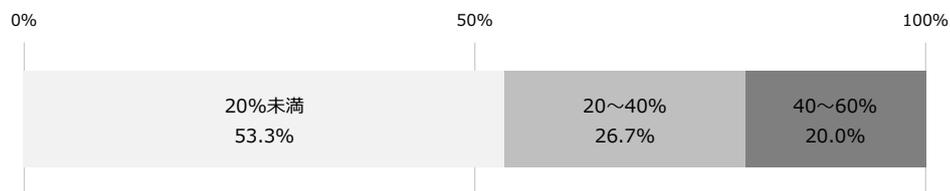
本村では平成 28 年度に渡嘉敷村内の事業者に対して、事業の現状や今後についての意向、外国人の受入、事業所の取組み、及び観光施策への取組み等についてのアンケート調査を行いました。

### ●調査実施概要

<調査対象> 渡嘉敷島内全事業者  
<調査期間> 平成 28 年 8 月 29 日 (月) ～10 月 31 日 (月)  
<配布方法> 各事業者へ直接調査票を配布  
<回収方法> 調査員が各事業者へ直接伺い回収  
<回収数> 21 事業者

### ①閑散期の稼働率

「閑散期の稼働率はどれくらいか。」という設問に対し、「20%未満 (53.3%) 」と最も高く、次いで「20～40% (26.7%) 」となりました。



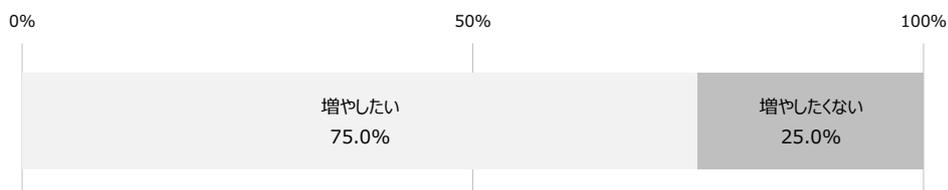
### ②冬期の事業の有無

「冬期 (12 月～2 月) の事業を行っているか。」という設問に対し、76.5%が「事業を行っている。」と答えた一方で、23.5%の事業者 (4 社) は夏期だけの営業と回答しました。



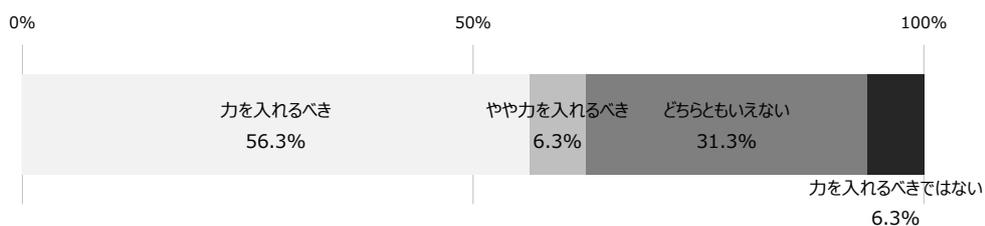
### ③冬期の集客の意向

「冬期（12月～2月）の集客を増やしたいか。」との設問に対し、75.0%の事業者が増やしたいと回答しました。



### ④冬期の観光誘客（行政への期待）

「渡嘉敷村は冬期（12月～2月）の観光誘客に力を入れるべきだと思うか。」との設問に対し、56.3%が「力を入れるべき」と回答しました。次いで 31.3%が「どちらともいえない」と回答しました。



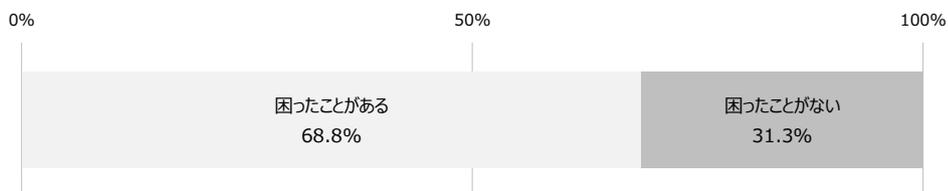
### ⑤事業継続における課題の有無

「今後事業を継続していくうえで、課題等はあるか。」との設問に対し 80.0%が「課題がある」と回答しました。具体的な課題としては、近年増加する外国人への対応、働く人材確保、施設のハード面の整備等が挙げられました。



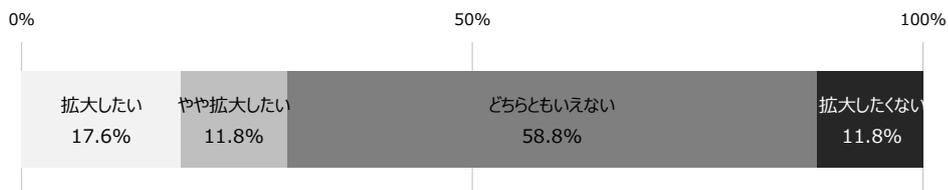
## ⑥外国人受入で困ったことの有無

「外国人観光客の受入で困ったことがあるか。」との設問に対し 68.8%が「困ったことがある」と回答しました。具体的な内容としては、コミュニケーション、マナー面での理解不足等が挙げられました。



## ⑦外国人受入の拡大意向

「外国人観光客の受入を拡大したいと思うか。」との設問に対して、「どちらともいえない（58.8%）」、次いで「拡大したい（17.6%）」との回答が多くなりました。どちらともいえない理由としては、外国人観光客のマナーに関する不安が挙げられました。



### (3) 渡嘉敷村の観光客アンケート調査結果

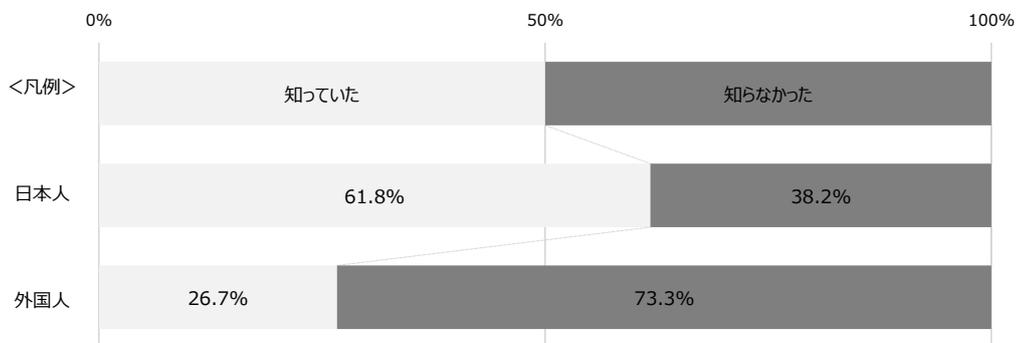
本村では平成 28 年度に渡嘉敷村を訪れる観光客の実態や、消費行動、満足度等を把握するため、アンケート調査を実施しました。

#### ● 調査実施概要

<調査対象> 渡嘉敷島に訪れた観光客（日本人、外国人）
<調査期間> 平成 28 年 8 月 23 日（火）～平成 29 年 2 月 23 日（木）
<配布方法> 渡嘉敷港から沖縄本島泊港に戻る観光客に対して、調査票を配布
<回収方法> 沖縄本島泊港で調査票を回収
<回収数> 日本人 138 人、外国人 30 人 合計 168 人

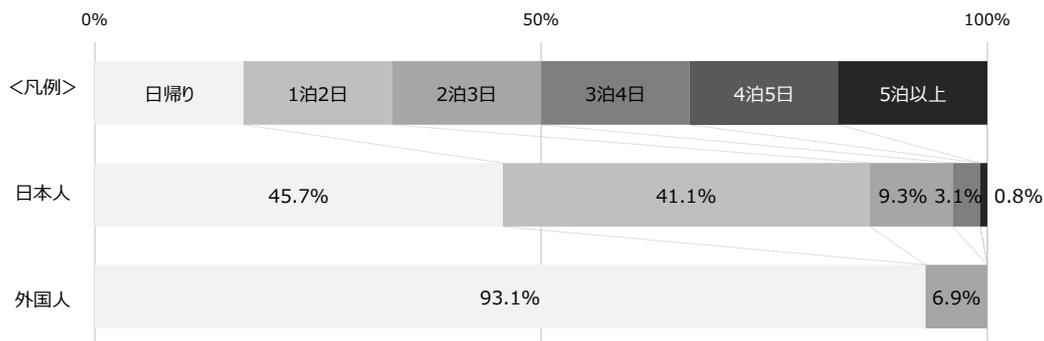
#### ① 渡嘉敷島の認知度

「今回の旅行を計画する前に渡嘉敷島を知っていたか。」という設問に対して、日本人は 61.8%が知っていた、38.2%が知らなかったと回答しました。外国人 26.7%が知っていた、73.3%が知らなかったと回答しました。



#### ② 渡嘉敷島旅行の滞在日数

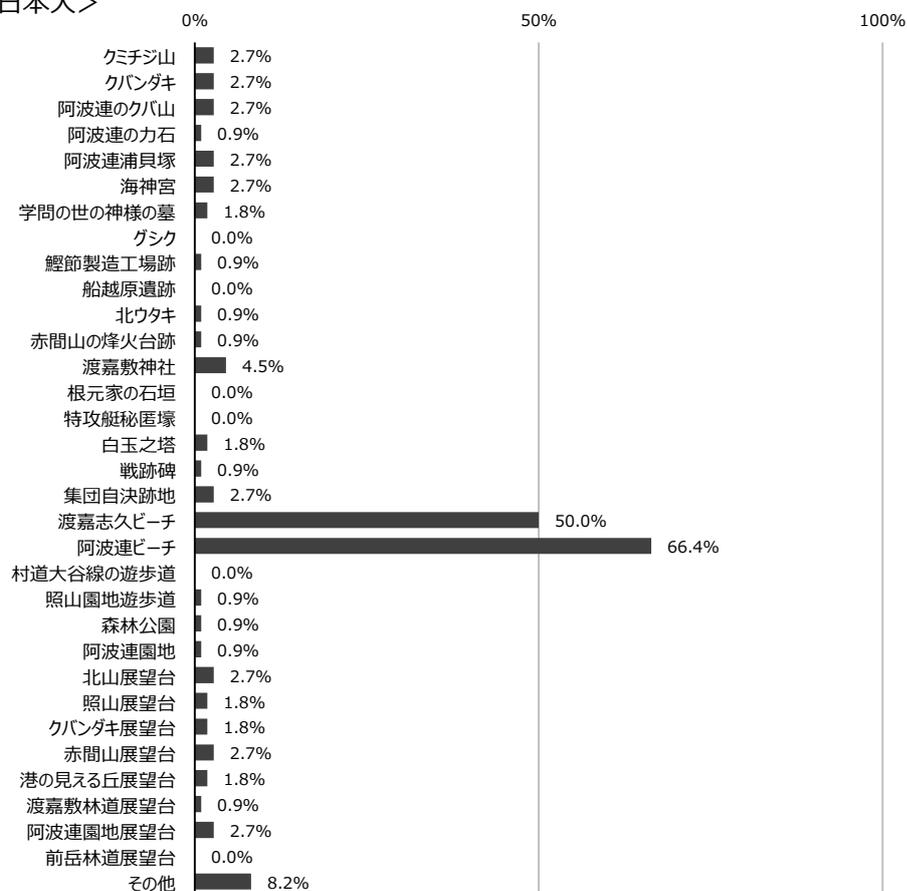
「今回の渡嘉敷島旅行の滞在日数はどのようか。」という設問では、日本人の回答で最も高いのは、「日帰り（45.7%）」、次いで「1泊2日（41.1%）」となりました。外国人の回答で最も高いのは、「日帰り（93.1%）」、次いで「2泊3日（6.9%）」となり、日本人、外国人ともに、日帰り旅行が最も高い結果となりました。



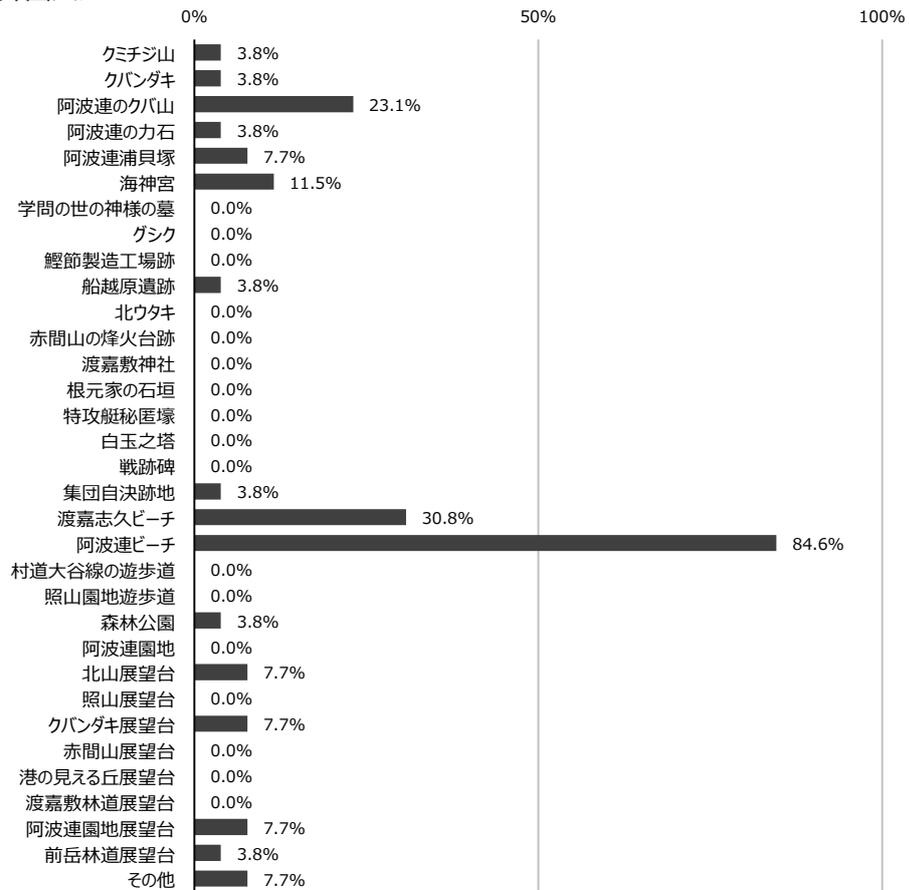
### ③ 渡嘉敷島の訪れたい場所（来訪前）

「渡嘉敷島来訪前に、訪れたいと思っていたものは何か？（3つまで複数回答可）」という設問では、日本人の回答で最も数が多かったのが、「阿波連ビーチ（66.4%）」、次いで「渡嘉志久ビーチ（50.0%）」となりました。外国人の回答も同様に、最も高いのは、「阿波連ビーチ（84.6%）」、次いで「渡嘉志久ビーチ（30.8%）」となりました。美しいビーチの魅力については十分に伝わっている一方で、その他の選択肢の回答割合が全て 4.5%以下となっており、ビーチ以外の魅力があまり伝わっていない状況です。

#### <日本人>

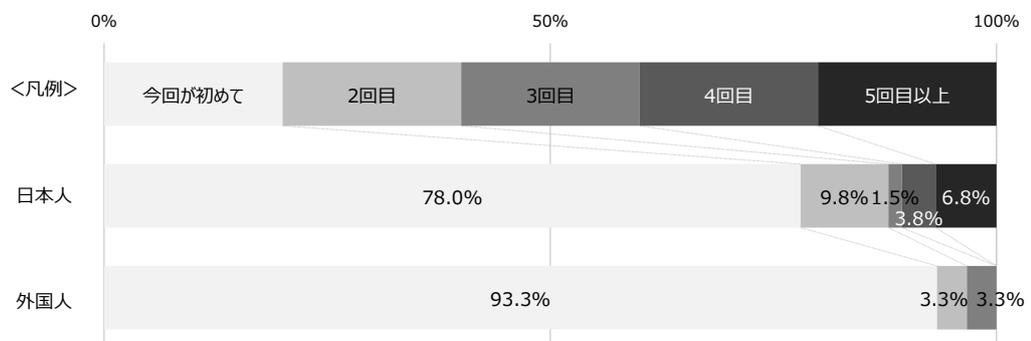


<外国人>



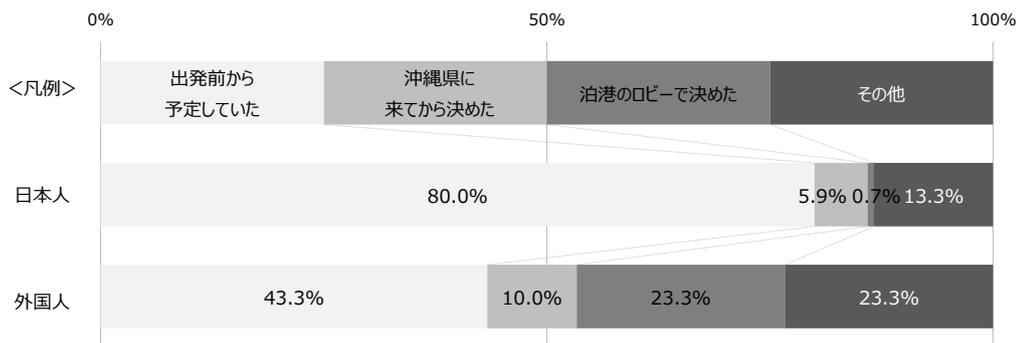
④渡嘉敷島への訪問回数

「渡嘉敷島へ来るのは何回目か。」という設問に対して、日本人の回答で最も高いのは、「今回が初めて（78.0%）」、次いで「2回目（9.8%）」となりました。外国人の回答で最も高いのは、「今回が初めて（93.3%）」、次いで「2回目」「3回目」が3.3%となりました。日本人、外国人ともにはじめての訪問者が最も多い結果となりました。日本人回答者の中でもリピーターは21.9%にとどまりました。



### ⑤ 渡嘉敷島へ行くと決めたタイミング

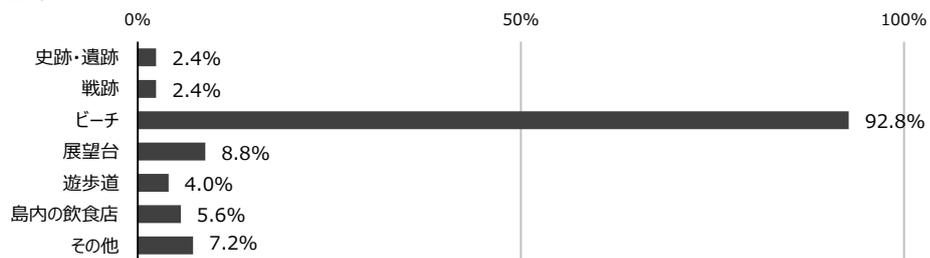
「今回、渡嘉敷島へ行くと決めたのはどのようなタイミングか。」という設問に対して、日本人の回答で最も高いのは、「出発前から予定していた（80.0%）」となりました。外国人の回答においても、「出発前から予定していた（43.3%）」の回答が最も多くなりましたが、次いで「泊港のロビーで決めた」との回答が 23.3%となっており、外国人は当日旅程を決定する人の割合が日本人に比べて多いことがわかりました。



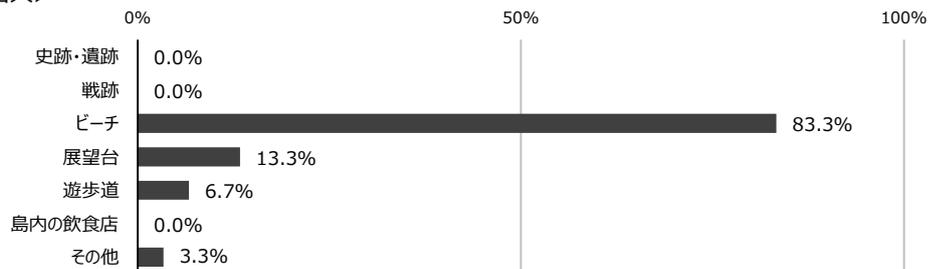
### ⑥ 渡嘉敷島でよかった場所

「渡嘉敷島で最もよかった場所はどこか。（3 つまで複数回答可）」という設問に対して、日本人の回答で最も高いのは、「ビーチ（92.8%）」、次いで「展望台（8.8%）」となりました。外国人の回答においても同様に、最も高いのは、「ビーチ（83.3%）」となっています。次いで「展望台（13.3%）」となりました。前出の「訪れてみたい場所」についての設問と同様に、実際に島内で訪問した場所がビーチに集中しています。

#### <日本人>



#### <外国人>

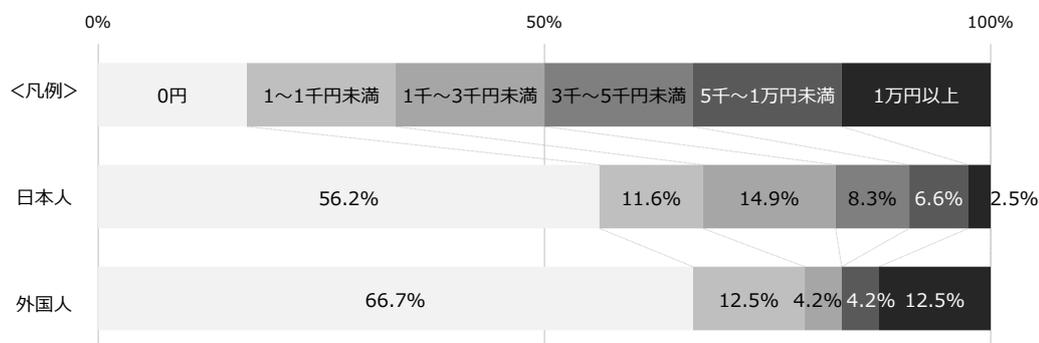


## ⑦ 渡嘉敷島で使った費用

「今回の渡嘉敷島での滞在中に使った、お土産代、レジャー代、飲食代。それぞれのおおよその金額を教えてください。」という設問に対する回答は以下となりました。

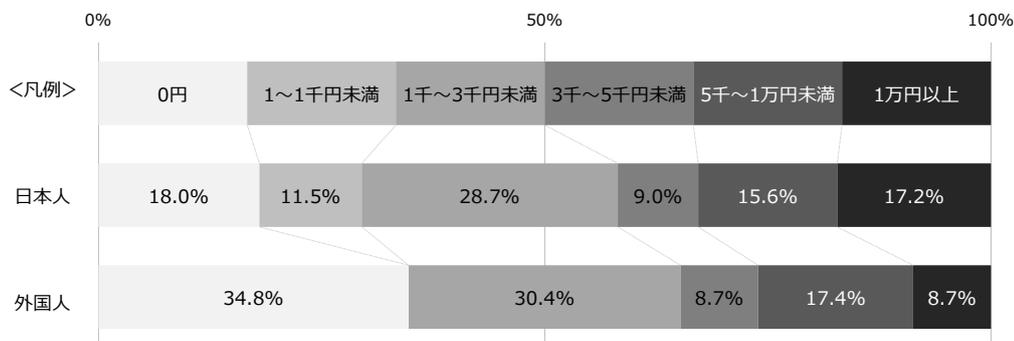
### ⑦－１．お土産代

日本人の回答では、最も高いのが「0 円（56.2%）」、次いで「1 千～3 千円未満（14.9%）」という結果となりました。外国人の回答については「0 円（66.7%）」、次いで「1～1 千円未満」「1 万円以上」が 12.5%という結果となりました。日本人、外国人ともに、消費金額が「0 円」という回答が最も多い結果から、観光客に対して訴求するお土産品が不足している、もしくは、広報が不足していることが考えられます。お土産品の開発・改良に力を入れることで、経済効果を生むことが期待できます。



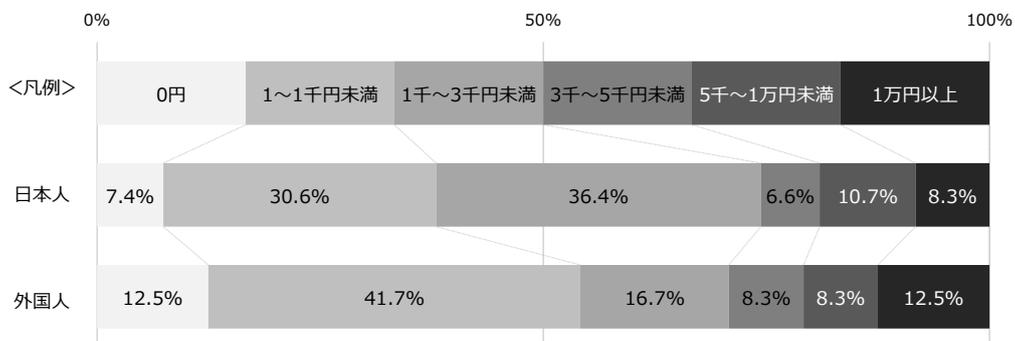
### ⑦－２．レジャー代

日本人の回答では、「1 千～3 千円未満（28.7%）」が最も高く、次いで「0 円（18.0%）」という結果になりました。外国人の回答においては、「0 円（34.8%）」が最も高く、次いで「1 千～3 千円未満（30.4%）」となりました。お土産と同様、日本人、外国人ともに、レジャーにかかる金額が低いことがわかりました。多様なレジャーメニューの提供や、楽しみ方の提案を行うことで、島内消費金額を上げることが期待できます。



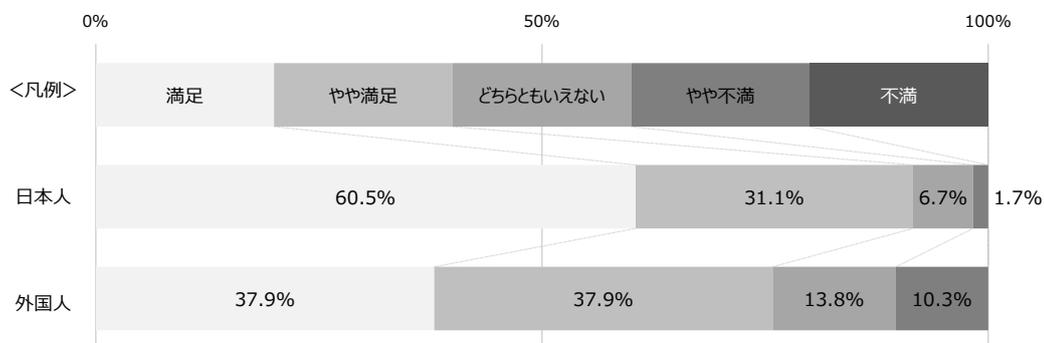
### ⑦-3. 飲食代

日本人の回答では、「1千～3千円未満（36.4%）」が最も高く、次いで「1～1千円未満（30.6%）」となりました。外国人の回答では、「1～1千円未満（41.7%）」が最も高く、次いで「1千～3千円未満（16.7%）」となりました。



### ⑧満足度

「今回の渡嘉敷島の滞在における満足度かどうか。」という設問に対して、日本人の回答は満足傾向 9 割、外国人の満足傾向が 8 割という結果となり、総合評価として高い満足度を示しました。



## 2 - 4. 渡嘉敷村の観光課題の整理

### (1) 自然環境保全への対応

平成 26 年 3 月 5 日「サングの日」に渡嘉敷村と座間味村からなる慶良間諸島が全国で 31 番目の国立公園に指定されました。さらに、平成 28 年には、国立公園満喫プロジェクトに選定されたことから、今後ますます観光客の増加が見込まれ、それに伴って環境への負荷がより一層増加する可能性があります。このような状況の中、渡嘉敷村の素晴らしい自然を未来に繋いでいくため、村民だけでなく観光客も、責任を持って自然環境を守っていけるような取組みを進めていく必要があります。

### (2) 受入体制整備

国立公園の指定に伴い、近年観光客数が増加傾向にある中、それらを全て受入られるだけの体制がまだまだ不十分な状態であり、来島した観光客を十分に満足させることができていない状況です。特に増加傾向にある外国人観光客に対しては言葉の壁やコミュニケーション不足による様々な問題が発生しており、適切な対応を行っていく必要があります。

また、一度訪れた観光客がリピートしたくなるような観光地にするためには、受入体制の質を上げ、滞在中の満足度を上げていくことが大切です。

### (3) 観光協会の設立

本村では、産業の中心が観光と密接に関わっていながら、これまで具体的な観光計画が設定されていなかったために、観光に関する取組み内容が曖昧な状況となっていたと同時に、様々なロスが生じていた可能性があります。そこで、本計画を策定することで、より機能的に取組みを実行しやすい体制にしていくことが大切です。

また、村内産業の活性化につながる地域文化の振興等、活力ある村の形成を目指し、村民生活の向上に寄与することを目的とした情報発信を継続的かつ戦略的に実施するため、それらを統括し推進していく組織として観光協会を設立する必要があります。

### (4) 冬期の観光メニューの造成

本村では、夏期（オンシーズン）にマリンアクティビティを中心とした観光レジャーを満喫するため、多くの観光客が来島し、6 月から 9 月にかけての入域者数は年間入域者数の半数以上を占めています。しかしながら、冬期（オフシーズン）は観光メニューの不足や情報発信不足もあり、入域者数は最も入域者が多い月の約 12%となっています。このような季節毎の差を減らし、年間を通して入域者数の平準化を図るため、冬期に観光客を呼び込む施策を講じ、観光事業の活性化を促進していくことが重要です。以上のことから、冬期に渡嘉敷村らしく競争力のある観光メニューを構築し、また、それに伴った明確な PR を実施していくことが必要です。

## (5) 外国人観光客の誘客

現在の主要市場である国内観光客増加への取組みは、国内人口の減少などにより沖縄県全体としても厳しい状況を迎えつつあります。このため、伸び率が著しい外国人の観光客を呼び込むことで、それらを補い、観光産業の安定化を図ることが一つの方策といえます。

しかしながら、海外の観光地（特に沖縄と競合するアジア太平洋地域における観光地）においても積極的に観光振興が進められており、それらに対抗し、選ばれる観光地になるよう適切な取組みを行っていく必要があります。

### 3 章 渡嘉敷村観光振興計画

## 3 章 渡嘉敷村観光振興計画

### 3 - 1 . 基本理念

本村は、世界に誇れるサンゴ礁を有するなど貴重な海と豊かな緑といった美しい自然環境に恵まれ、離島という特異な生態系や連綿と伝わる文化、固有の歴史等、様々な地域資源があります。これらが認められ、平成 26 年 3 月に国立公園に指定されました。

地域資源は、先人が守り伝えてきた財産であり、村民はそれらを観光資源として活用されてきました。

本村の特性を活かした観光振興を展開していくためには、観光メニューを構築するだけでは難しく、村民一人ひとりの協力が必要となります。村民が村を好きになり、島での暮らしに誇りを持ち、自然を大切にしていきたいと思える人づくりを目指して、本計画の基本理念を次のとおり表現しています。

#### 基本理念

## 心ふるえる夢島 とかしき

～ この碧<sup>あお</sup>を 100 年先に結<sup>つむ</sup>ぐ ～

とかしきが有する豊かな地域資源、  
碧<sup>あお</sup>く輝く海、緑溢れる山、  
先人たちが歩んだ歴史、素晴らしい文化。

それらには、人の心をゆさぶり、  
心をふるわせるような魅力があります。

そんなとかしきの魅力を、  
住民も観光客も一緒になって、100 年先に結<sup>つむ</sup>いでいきます。

とかしきは、  
自然を大切に守り活かす場所。  
一度訪れた人がまた来たくなる島時間が漂う場所。  
誰もが大切に想い、心が満たされ愛着のある夢のような場所。

そんな「心ふるえる夢島」であり続けます。

## 3-2. 基本方針

基本理念に基づいて、展開していく基本方針を次のとおり整理します。

### ●基本方針 1：自然との共生を目指した環境づくり【自然環境保全・活用】

渡嘉敷村の最大の資源である豊かな自然環境を守り・活かしながら、観光に寄与する取組みを進めます。

### ●基本方針 2：快適に観光でき、滞在できる受入体制づくり【観光客受入体制】

渡嘉敷村らしさを残しながら、観光客が快適に観光・滞在できるような受入体制を構築し、再来訪してもらえるような取組みを進めます。

### ●基本方針 3：渡嘉敷村全体を活用した四季折々の観光メニューづくり【観光コンテンツ】

渡嘉敷村の有する様々な地域資源を活用しながら、ヒト・モノ・コトをつなげ、年間通して楽しめる観光メニューを構築していきます。

### ●基本方針 4：渡嘉敷村の特性を活かしたブランドづくり【地域ブランディング】

渡嘉敷村の立地環境特性を活かして、地域としての価値を高めるブランドづくりを進めます。

### ●基本方針 5：渡嘉敷村の魅力を効果的に伝え、人を呼び込むプロモーション実施【誘客プロモーション】

渡嘉敷村の魅力を、広く効果的に伝えていくとともに、渡嘉敷村に訪れたくなるようなプロモーション活動を進めます。

心ふるえる夢島 とかしき  
～ この碧を100年先に結ぐ～

- 方針 1 自然との共生を目指した環境づくり
- 方針 2 快適に観光でき、滞在できる受入体制づくり
- 方針 3 渡嘉敷村全体を活用した四季折々の観光メニューづくり
- 方針 4 渡嘉敷村の特性を活かしたブランドづくり
- 方針 5 渡嘉敷村の魅力を効果的に伝え、人を呼び込むプロモーション実施

### 3-3. 基本施策と取組みの体系

基本方針に基づき、今後展開していく施策と取組みの体系は以下のとおりとなります。

基本理念	基本方針	基本施策	具体的な取組み内容
心ふるえる夢島 とかしき この碧を100年先に結ぐ	自然との共生を目指した環境づくり 【自然環境保全・活用】	(1) 環境保全の推進	① 環境状況調査の実施と実施検討
			② 環境基準値の共有
			③ 環境負荷削減に繋がる取組みの実施検討
			④ 環境協力税の妥当性の検討
		(2) エコツーリズムの推進	① 良質なエコツアープログラムの開発・実施
			② 渡嘉敷村の魅力活用に向けた取組み
			③ 渡嘉敷村を考える会の開催実施
		(3) 環境美化の推進	① 美化運動の実施
			② 廃棄物の削減に向けた取組み
		(4) 外来種への対策	① 生態系維持に向けた取組み
			② 害獣の駆除・捕獲に向けた取組み
		快適に観光でき、 滞在できる受入体制づくり 【観光客受入体制】	(1) 観光客受入体制の整備
	② 質の高い観光案内の充実		
	③ 外国人観光客への案内対応サポート支援		
	④ 外国語対応への取組み		
	⑤ 飲食店連携に向けた取組み		
	⑥ 働く人材不足の解消に向けた取組み		
	⑦ 渡嘉敷村でのサービス整備状況の事前周知活動		
	(2) 利用環境向上に向けた基盤整備の充実		① 船内WiFi環境の整備検討
			② 島内WiFi環境の整備
			③ 案内標識の整備検討
			④ 交通安全看板等の整備検討
			⑤ 船舶荷物運搬に関する利便性向上に向けた検討
			⑥ 既存の観光・交流施設の維持管理の推進
	(3) 各種予約システムの構築		① 船舶の予約サイトの改善
② 宿泊施設や飲食店の予約サイトの構築			
(4) 交通網の充実	① 適正な船舶の運用体制づくりの推進		
	② 慶良間諸島の周遊航路の検討		
	③ 島内周遊バスの運用の検討		
(5) 避難対策の整備	① 避難場所の案内板の設置		
	② 避難時の対応マニュアルの作成・配布		
(6) 非常時における対応	① 非常時の対応マニュアルの作成と周知		
渡嘉敷村全体を活用した 四季折々の観光メニューづくり 【観光コンテンツ】	(1) 観光メニューの創出		① 渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出
			② 観光イベントの継続開催、及び新規の企画検討
			③ 観光ルートづくりの推進
渡嘉敷村の特性を活かした ブランドづくり 【地域ブランディング】	(1) 渡嘉敷村としてのブランディング	① 特産品の開発	
		② 観光マナーの周知・徹底に向けた取組み	
	(2) 慶良間諸島全体としてのブランディング	③ ビーチでの規制ルール設定のための場づくりと周知・徹底に向けた取組み	
		④ 地域ブランドの構築に向けた取組み	
		① 慶良間諸島全体での観光振興への取組み	
渡嘉敷村の魅力を効果的に伝え、 人を呼び込むプロモーション実施 【誘客プロモーション】	(1) 情報発信の充実	① 村ホームページの改訂	
		② SNSを活用した定期的な情報発信	
		③ デジタルサイネージの設置	
	(2) 誘客プロモーション活動の推進	① 修学旅行の誘致	
		② 誘客イベントへの参加	
		③ パンフレットやポスターの作成・配布	
		④ デジタルコンテンツの制作検討	
	(3) 交流活動の推進	① 他自治体との交流機会創出の検討	

### 3 - 4. 具体的な取組み内容

#### 基本方針 1

自然環境保全・活用

#### 自然との共生を目指した環境づくり

##### (1) 環境保全の推進

客観的な視点での環境保全基準を定め、積極的に目標設定と目標達成に向けた様々な取組みを進めます。

##### 取組み①：環境状況調査の継続実施と実施検討

阿波連ビーチに関しては、現在沖縄県が実施している海水浴場の水質調査の継続を推進します。また、渡嘉志久ビーチに関しても、水質調査の実施検討を進めます。その他、必要と思われる環境状況調査の実施を検討し、環境省や各種専門家と協力して推進します。

##### 取組み②：環境基準値の共有

沖縄県が実施する海水浴場の水質調査の結果数値とともに、沖縄県が設定する環境基準値を村民及び観光関連事業者、観光関連団体等に共有します。また、必要に応じて、渡嘉敷村として目指すべき目標設定も検討します。

##### 取組み③：環境負荷削減に繋がる取組みの実施検討

環境負荷削減に向けて、産学官連携も行いながら、新技術や効果的な方策の活用など、様々な取組みの実施を検討します。また、国立沖縄青少年交流の家と連携し、青少年を含む村民向けに環境についての学習機会の提供に向けた検討を進めます。

##### 取組み④：環境協力税の妥当性の検討

環境負荷の増加に伴い、現状の環境協力税の妥当性について改めて検討し、金額の増額を見極めます。

■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
① 環境状況調査の継続実施と実施検討	○			●			
② 環境基準値の共有	○			●			
③ 環境負荷削減に繋がる取組みの実施検討			○	●	○	○	○
④ 環境協力税の妥当性の検討			○	●			

## (2) エコツーリズムの推進

渡嘉敷村全体で、自然環境をはじめとする地域固有の魅力を観光客に伝えていくとともに、地元住民も資源の価値を再認識し、大切にしていきたいと思える取組みを進めます。なお、取組みにあたっては、慶良間地域エコツーリズム推進全体構想も考慮に入れながら、推進していくこととします。

### 取組み①：良質なエコツアープログラムの開発・実施

幼児から大人まで、渡嘉敷村の豊かな自然の魅力を体験してもらい、自然の大切さと尊さを学んでもらう良質なエコツアープログラムや体験活動プログラムの開発を行い、実施します。

また、将来的には、良質なエコツアープログラムの認定制度を設けるなど、より良いプログラムづくりに向けて検討を進めます。

### 取組み②：渡嘉敷村の魅力活用に向けた取組み

渡嘉敷村の最大の魅力である自然環境を持続可能な観光資源として活用するために村民及び観光客が守るべきルールを設定するとともに、そのルールを周知・共有していきます。

### 取組み③：渡嘉敷村を考える会の開催実施

青少年を含む全ての村民や村内事業者を対象に、渡嘉敷村の自然・歴史・文化など様々な視点から魅力を知り、考える会を開催し、地元へ愛着を持ち、守ってきたいという機運を高めていきます。

また、テーマに合わせて、関係する人材を集めて話し合う場の創出も検討します。

## ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①良質なエコツアープログラムの開発・実施	○			●		○	
②渡嘉敷村の魅力活用に向けた取組み			○	●	○	○	○
③渡嘉敷村を考える会の開催実施	○			●	○	○	○

### (3) 環境美化の推進

渡嘉敷村は国立公園として、世界的にも誇りうる傑出した自然風景を有していることから、その価値や魅力に見合った環境づくりに向けた取組みを進めます。

#### 取組み①：美化運動の実施

村民との協力により、定期的に行われる「ゼロのつく日」の美化清掃とともに、地元ボランティアによるビーチや集落など村内のごみ拾い（年に3回）や、企業などのボランティア活動の支援を実施し、村内美化を推進します。

また、村民のみならず観光客も一緒になって環境美化を心掛ける体制づくりのほか、拾ったごみを入れるごみ箱の設置やそれらを回収する仕組みづくりの検討を進めるなど、総合的な美化体制構築を目指します。

#### 取組み②：廃棄物の削減に向けた取組み

正しいごみの分別方法を村民・事業者にも周知することで、リサイクルできる資源ごみを回収し、ごみの削減を目指します。

また、廃棄物になりえるものはなるべく村内に持ち込まないよう村民及び観光客に向けて協力を図ります。

#### ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
① 美化運動の実施			○	●	○	○	○
② 廃棄物の削減に向けた取組み			○	●		○	○

#### (4) 外来種への対策

渡嘉敷村在来の様々な動植物を守るとともに、村内の農作物への被害を減らしていくため、外来種駆除に向けた対策を進めます。

##### 取組み①：生態系維持に向けた取組み

外来種が在来種に大きく影響を与えていることから、渡嘉敷村本来の生態系を維持していくため、防除など必要な取組みを推進します。

また、今後さらなる被害を防ぐため、村民及び観光客に対して、外来種被害予防三原則「入れない・捨てない・拡げない」の周知・共有を図ります。

##### 取組み②：害獣の駆除・捕獲に向けた取組み

渡嘉敷村内の農作物・在来種被害を減らすため、様々な仕掛けを講じていながら、猪等の害獣の駆除や捕獲に向けた取組みを進めます。

#### ■取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①生態系維持に向けた取組み			○	●			
②害獣の駆除・捕獲に向けた取組み			○	●			

## 基本方針 2

### 観光客受入体制

## 快適に観光でき、滞在できる受入体制づくり

### (1) 観光客受入体制の整備

渡嘉敷村に訪れる様々な観光客（外国人も含む）に、丁寧で質の高い受入体制を整備します。

#### 取組み①：観光協会の設立

観光推進に向けて、観光窓口ともなる観光協会を設立し、年間を通じて観光の平準化を目指します。

また、渡嘉敷村の自然環境は観光財産でもあることから、観光協会は観光事業のみならず、環境保全についても積極的にかつ、主導的に進めていく役割を担います。

#### 取組み②：質の高い観光案内の充実

観光客に渡嘉敷村の魅力をより深く知ってもらい、安全に楽しんでもらえるよう、知識とサービス精神を持った質の高い観光ガイドの育成を進めます。

観光ガイドの質的向上に向けて、体験活動の指導に関するノウハウを有する国立沖縄青少年交流の家や沖縄県コンベンションビューロー、その他関係機関と協力を図り、渡嘉敷村自然・歴史・文化講座等を実施するなど、より観光客に喜ばれる案内が行えるような取組みを進めます。

また、村民に対しても観光客を快く受入れる機運づくりとともに、村内の基本的な案内ができるよう、周知・共有を図っていきます。

#### 取組み③：外国人観光客への案内対応サポート支援

渡嘉敷村内の観光関連事業者に対して、外国人対応が可能な体制構築に向けた支援と整備を進めます。

#### 取組み④：外国語対応への取組み

観光客が最も多く集まる阿波連地区(旅行村)において、多言語案内所の設置検討と多言語対応可能な人材を採用し、外国人に対しての案内やルール厳守を徹底します。

#### 取組み⑤：飲食店連携に向けた取組み

昼食難民等の発生防止に向けて飲食店の連携協力を図り、安定的にサービスの提供が行える取組みを進めます。

### 取組み⑥：働く人材不足の解消に向けた取組み

ホテルや民宿などの経営者の高齢化に伴う担い手や働く人材不足の解消に向けて、後継者育成や村内移住者の活用・マッチングを進めます。

また、必要に応じた外部からの人材確保に向けて、居住環境の整備充実を推進します。

### 取組み⑦：渡嘉敷村でのサービス整備状況の事前周知活動

渡嘉敷村でのATMやクレジットカード等の各種サービスの整備状況を、来島前の観光客に理解してもらう周知活動を進めます。

また、将来的には、サービス向上を目指した各種サービス機能の整備と充実に向け、関係機関との調整を検討します。

### ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①観光協会の設立	○			●	○		
②質の高い観光案内の充実	○			●	○	○	
③外国人観光客への案内対応サポート支援			○	●		○	
④外国語対応への取組み	○			●			
⑤飲食店連携に向けた取組み			○	●	○	○	
⑥働く人材不足の解消に向けた取組み			○	●	○		
⑦渡嘉敷村でのサービス整備状況の事前周知活動			○	●			

## (2) 利用環境向上に向けた基盤整備の充実

離島ならではの WIFI 環境の不安定さを極力減らすとともに、初めて来島した観光客を的確に案内できるような案内標識等の設置や、既存施設の維持管理を進め、快適な観光が行える基盤整備の充実を図っていきます。

### 取組み①：船内 WIFI 環境の整備検討

泊港から渡嘉敷港までの船内で快適にネットサービスが行えるよう、WIFI 環境の整備を検討します。

### 取組み②：島内 WIFI 環境の整備

阿波連地区の WIFI 環境の不十分さを解消し、快適で安定したネットサービスの提供を目指します。

### 取組み③：案内標識の整備検討

初めて訪れた観光客が迷うことなく、目的地にたどり着けるよう、多言語表記も含めた案内標識の整備検討を行います。

### 取組み④：交通安全看板等の整備検討

渡嘉敷村内の交通ルールを守ってもらえるよう、多言語表記も含めた交通安全看板等の整備を検討します。

### 取組み⑤：船舶荷物運搬に関する利便性向上に向けた検討

修学旅行生を受入れた際などに発生する大量荷物の運搬をより円滑に行えるよう、利便性向上に向けた検討を進めます。

### 取組み⑥：既存の観光・交流施設の維持管理の推進

現状の観光・交流施設に対して、不備や破損等の有無の確認を定期的実施し、適正な施設の維持管理を推進します。

■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政 運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光 団体	事業 者	村民
①船内 WIFI 環境の整備検討			○	●			
②島内 WIFI 環境の整備			○	●			
③案内標識の整備検討			○	●			
④交通安全看板等の整備検討			○	●			
⑤船舶荷物運搬に関する利便性向上に向けた検討			○	●		○	
⑥既存の観光・交流施設の維持管理の推進			○	●			

### (3) 各種予約システムの構築

渡嘉敷村に来島した際、最初の窓口となる船舶の予約サイトの改善と、宿泊・飲食店の予約サイト構築により、利便性の向上を目指します。

#### ①船舶の予約サイトの改善

現在の船舶予約サイトを、より使いやすい仕様に改善し、利用者がストレスなく使えるサイトへのリニューアルを目指します。

#### ②宿泊施設や飲食店の予約サイトの構築

渡嘉敷村内の宿泊施設や飲食店等の情報を整理し、総合的な窓口予約サイトの構築を検討します。

#### ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①船舶の予約サイトの改善	○			●			
②宿泊施設や飲食店の予約サイトの構築	○			●	○	○	

#### (4) 交通網の充実

渡嘉敷島への移動、島間の移動が円滑に行え、かつ、島内を楽しんで巡り、周遊できる交通網を充実していきます。

##### 取組み①：適正な船舶の運用体制づくりの推進

今後の渡嘉敷村の適正な観光客数を議論したうえで、必要に応じた運用体制の構築を進めます。

##### 取組み②：慶良間諸島の周遊航路の検討

観光客により楽しんでもらえるよう、渡嘉敷島から慶良間諸島の島々を周遊できる航路の検討を行います。

##### 取組み③：島内周遊バスの運用の検討

島内にある展望台や観光名所を繋げ、島を巡って楽しめる周遊バスの運用を検討します。

#### ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①適正な船舶の運用体制づくりの推進	○			●			
②慶良間諸島の周遊航路の検討			○	●			
③島内周遊バスの運用の検討			○	●			

## (5) 避難対策の整備

地元住民だけでなく、観光客も、安全に避難できるように、案内板の設置やマニュアル作成等の避難対策を整えます。

### 取組み①：避難場所の案内板の設置

災害時に住民、観光客関係なく、誰もが安全に避難できるよう、避難場所の案内板を設置します。

### 取組み②：避難時の対応マニュアルの作成・配布

避難時の対応について簡単なマニュアルを作成し、船舶内や民宿等に設置します。

#### ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①避難場所の案内板の設置	○			●			
②避難時の対応マニュアルの作成・配布	○			●		○	

## (6) 非常時における対応

観光客の怪我や病気などの非常時に向けた対策を整えます。

### 取組み①：非常時の対応マニュアル作成と周知

観光客の怪我や急な病気の際に対応できるよう、マニュアルを作成するとともに、その周知を図ります。

#### ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①非常時の対応マニュアル作成と周知	○			●			

## 渡嘉敷村全体を活用した四季折々の観光メニューづくり

## (1) 観光メニューの創出

渡嘉敷村の有する自然や歴史文化、人を最大限に活用した年間通して楽しめる観光メニューを創出していきます。

## 取組み①：渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出

年間を通じて、農林漁業と連携し、渡嘉敷村らしい自然・歴史・文化を感じながら、島民とふれあえる体験メニュー・プログラムを創出します。

また、渡嘉敷村の有する様々な観光施設の活用と、環境や平和についての教育的視点を含めた観光メニュー・プログラムづくりも検討します。

## 取組み②：観光イベントの継続開催、及び新規の企画検討

村内観光誘客イベントの継続開催を進めるとともに、新たな客層を呼び込める観光イベントの企画を検討します。

## 取組み③：観光ルートづくりの推進

国立沖縄青少年交流の家をはじめ、観光・教育施設を活用しながら、渡嘉敷村内を巡って魅力ある地域性を楽しめる周遊観光ルートづくりのほか、慶良間諸島の島々と渡嘉敷島を繋げる広域観光ルートの構築を進めていきます。

## ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①渡嘉敷村の観光資源を活用した体験メニュー・プログラムの創出			○	●	○	○	
②観光イベントの継続開催、及び新規の企画検討	○			●	○		
③観光ルートづくりの推進			○	●		○	

基本方針 4

地域ブランディング

渡嘉敷村の特性を活かしたブランドづくり

(1) 渡嘉敷村としてのブランディング

地域特有なお土産の開発や、観光客へのマナー・ルールの周知・徹底を行うとともに、渡嘉敷村の個性が発揮され、価値を高めるための適切なブランディングを行っていきます。

取組み①：特産品の開発

村内の特産物を活用した新たな特産品を開発を行います。

取組み②：観光マナーの周知・徹底に向けた取組み

観光客に対して、村民の生活の場でもある渡嘉敷村内集落への理解促進を図るとともに、美しく綺麗な島の風景を守るためマナーの周知・徹底に向けた取組みを図ります。

取組み③：ビーチでの規制ルール設定のための場づくりと周知・徹底に向けた取組み

ビーチでの遊泳やダイビング等の安全面の規制ルールの設定に向けた場づくりを行うとともに、観光客に対して、渡嘉敷村での事故ゼロを目指して、そのルールの周知・徹底に向けた取組みを図ります。

取組み④：地域ブランドの構築に向けた取組み

渡嘉敷村を特徴づけ、独自性のあるブランド構築に資する基本的なデザインルールの検討等の取組みを図っていきます。

■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①特産品の開発			○	●	○		
②観光マナーの周知・徹底に向けた取組み	○			●	○	○	○
③ビーチでの規制ルール設定のための場づくりと周知・徹底に向けた取組み	○			●	○	○	○
④地域ブランドの構築に向けた取組み			○	●			

## (2) 慶良間諸島全体としてのブランディング

座間味村との連携を図り、慶良間諸島全体のものとして共通のブランディングの方向性を定めていきます。

### 取組み①：慶良間諸島全体での観光振興への取組み

慶良間諸島国立公園のステップアッププログラム 2020 に基づき、座間味村と連携した取組みを進め、慶良間諸島全体のブランディングを図っていきます。

#### ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①慶良間諸島全体での観光振興への取組み			○	●			

**基本方針 5**

誘客プロモーション

**渡嘉敷村の魅力を効果的に伝え、人を呼び込むプロモーション実施**

(1) 情報発信の充実

渡嘉敷村の現状や魅力をリアルタイムで発信していきながら、観光客の呼び込みを進めます。

取組み①：村ホームページの改訂

渡嘉敷村の様々な魅力を伝えていくため、観光客の視点を意識した村のホームページの改善を目指します。

取組み②：SNS を活用した定期的な情報発信

Facebook や Instagram 等の SNS を活用して、渡嘉敷村の魅力を定期的に発信し、プロモーションを図っていきます。

取組み③：デジタルサイネージの設置

泊港のフェリー・高速船のチケット売り場などに、渡嘉敷村の日々の状況をはじめとする観光情報を掲示するデジタルサイネージを設置します。

■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①村ホームページの改訂			○	●			
②SNS を活用した定期的な情報発信			○	●	○		
③デジタルサイネージの設置	○			●			

## (2) 誘客プロモーション活動の推進

現在活動している修学旅行の誘客を継続的に推進するとともに、旅行博覧会等のイベントへの参加も積極的に進めながら、誘客に向けた活動を推進していきます。

### 取組み①：修学旅行の誘致

修学旅行を呼び込むための営業活動を継続的に実施します。

### 取組み②：誘客イベントへの参加

渡嘉敷村の魅力が伝わり、誘客効果が期待できる観光関連イベントを吟味・選択し、そのイベントへの参加により、渡嘉敷村の観光誘客に向けたPRを実施します。

### 取組み③：パンフレットやポスターの作成・配布

村外での誘客プロモーション活動の実施に伴い、費用対効果を見極めながら、渡嘉敷村の魅力を発信できる有効で適正なパンフレットやポスターの活用を検討するとともに、必要に応じて作成・配布を行います。

### 取組み④：デジタルコンテンツの制作検討

SNS など時代に合わせて、プロモーションに活用できる動画等のデジタルコンテンツの制作を検討します。

## ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①修学旅行の誘致			○	●	○		
②誘客イベントへの参加			○	●	○		
③パンフレットやポスターの作成・配布			○	●			
④デジタルコンテンツの制作検討			○	●	○		

### (3) 交流活動の推進

他自治体との交流する機会を創出しながら、渡嘉敷村のより良いプロモーションに寄与する取組みを進めます。

#### 取組み①：他自治体との交流機会創出の検討

共通点のある他自治体や、需要と供給が合致する他自治体など双方にとって有益となる交流機会の創出を検討します。

#### ■ 取組みのスケジュールと運営

取組み	スケジュール			行政運営	運営協力		
	短期	中期	長期		観光団体	事業者	村民
①他自治体との交流機会創出の検討			○	●			

### 3-5. 取組みの効果を検証するための目標値

取組みの効果を検証するための目標値は以下のように定めます。

#### (1) 観光メニューの創出

渡嘉敷村を訪れる観光客に楽しんでもらえる観光メニューの増加を目指します。

##### ■現状値と目標値

指標	現状値 (H29)	目標値 (H34)	調査方法
冬季の観光メニュー数	4メニュー	20メニュー	冬季に販売提供できる観光メニュー数の確認

#### (2) 特産品の開発

渡嘉敷村の地域性を活かした特産品の増加及び、それに伴う原材料の増産を目指します。

##### ■現状値と目標値

指標	現状値 (H28)	目標値 (H34)	調査方法
特産品数	—	新規2商品開発	新開発商品数の確認

#### (3) 渡嘉敷島内での観光消費

渡嘉敷島内の観光消費額の増加に向け、通年の延べ宿泊日数の増加を目指します。

##### ■現状値と目標値

指標	現状値 (H28)	目標値 (H34)	調査方法
通年延べ宿泊日数	—	10%増*2	日をまたいだ往復券購入者の延べ宿泊日数の集計*1

\*1：ナガンヌ島・みつしま・チャーター船による入域者数も含む  
\*2：平成30年度に集計した数値を基準とした場合の増加率

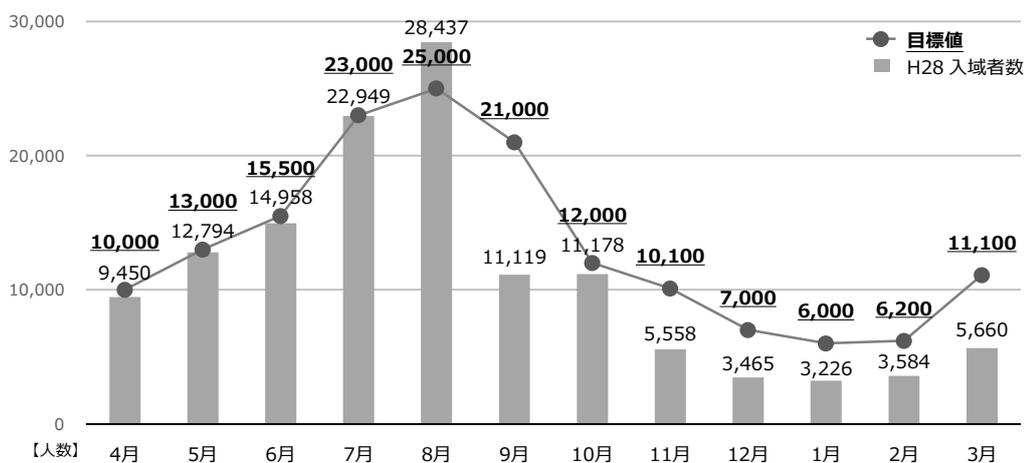
#### (4) 渡嘉敷島を訪れる入域者数等

渡嘉敷島の観光施策を進めることで、全体、及び冬期、外国人の入域者数増加のほか、宿泊者数の増加を目指します。

##### ■ 現状値と目標値

指標	現状値 (H28)	目標値 (H34)	調査方法
全体の入域者数	132,378 人	159,900 人 (約 27,500 人増)	環境協力税データベース による入域者数の集計 * 1
冬期 (11 月～3 月) の入域者数	21,493 人	40,400 人 (約 18,900 人増)	
外国人の入域者数	24,144 人	26,500 人 (約 2,400 人増)	船舶課による入域者数の集計
宿泊者数	—	10%増 * 2	日をまたいだ 往復券購入者数の集計 * 1

\* 1 : ナガンヌ島・みつしま・チャーター船による入域者数も含む  
\* 2 : 平成 30 年度に集計した数値を基準とした場合の増加率



## 4章 観光振興計画推進に向けて

## 4 章 観光振興計画推進に向けて

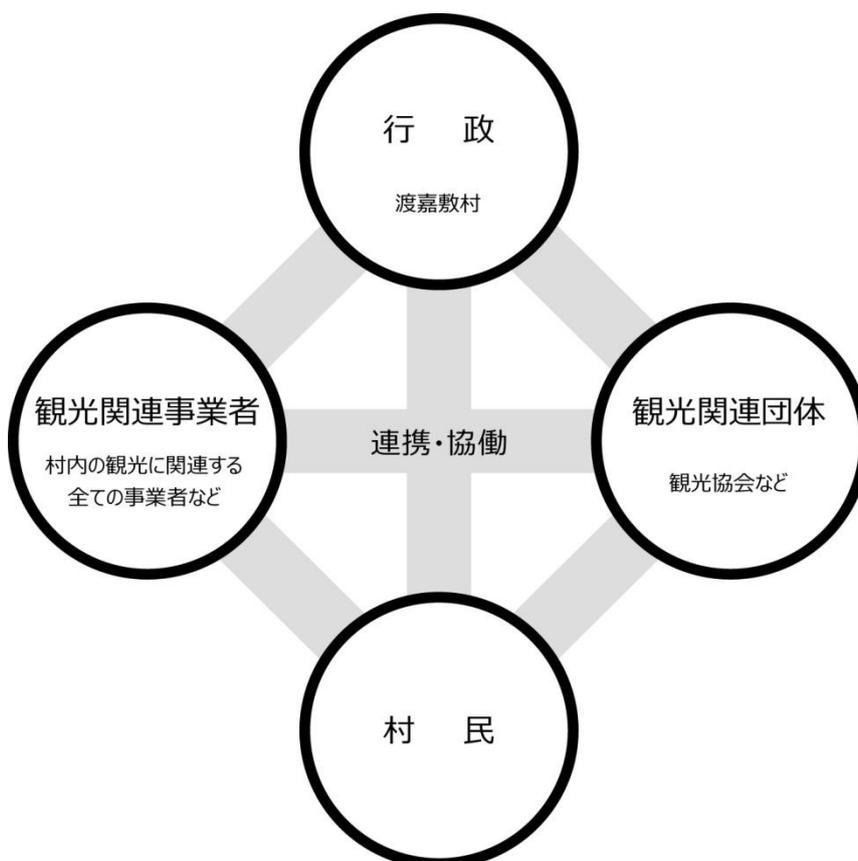
### 4 - 1 . 推進体制

現在、観光協会が設立されていないことから、できる限り早急に立ち上げ、村内の観光事業の推進役を担えるよう取組んでいく必要があります。

また、観光振興計画を推進していくためには、行政及び設立予定の観光協会だけでなく、観光関連団体、観光関連事業者、及び村民の協力が不可欠となります。関係者全てに本計画を共有し、それぞれの果たすべき役割のもと、連携を図っていくことが重要です。

さらには、長期的な視野を持ちながら、観光振興の取組みを実行していき、必要に応じて見直しや修正を加えてより良いものにしていくことが大切です。

村民人口約 700 人という限られた人数であることから、一人ひとりができる範囲の取組みを進めながら、村の観光振興に向けた努力を行う必要があります。



## 4-2. 推進に向けて果たすべき役割

渡嘉敷村の観光振興計画を推進していくうえで、行政、観光団体、観光関連事業者、及び村民の役割は以下のとおりです。

### (1) 行政の役割

村は渡嘉敷村の有する素晴らしい自然環境や歴史文化などの魅力を再認識し、愛着と誇りを持って、これらの観光資源と向き合い、守っていきます。また、役場内の関係部署との連携を図り、横断的な推進体制を構築するとともに、国や県をはじめ、座間味村などの関係市町村や観光団体、観光関連事業者及び村民との協議・調整を行い、全体の施策実現に向けた役割を担います。

さらには、様々な取組みの実施主体に対する支援を行うとともに、観光情報の収集、調査研究を進め、観光ニーズに対応したサービスの提供に向けて関係者との情報共有に努めます。

その他、渡嘉敷村が有する観光資源等の魅力について、観光関連団体や周辺市町村と連携し村内外に広く発信していきます。

### (2) 観光関連団体の役割

今後設立予定の観光協会をはじめとする観光関連団体は、渡嘉敷村の有する素晴らしい自然環境や歴史文化などの魅力を再認識し、愛着と誇りを持って、これらの観光資源と向き合い、守っていきます。また、村や観光関連事業者と密な連携を図りながら、情報発信や誘客のためのPR活動を行うとともに、村内の観光振興に向けた取組みの中核を担い、関係者との調整及び具体的な取組みに積極的に参画します。

### (3) 観光関連事業者の役割

村内宿泊施設や飲食店、マリンスポーツ等のサービス業をはじめとする観光関連事業者は、渡嘉敷村の有する素晴らしい自然環境や歴史文化などの魅力を再認識し、愛着と誇りを持って、これらの観光資源と向き合い、守っていきます。また、村内の観光振興の担い手として、主体的に取組みを実施・推進します。また、観光関連事業者間の連携と協力体制の構築を図り、観光客のニーズに対応したサービス提供や施設の整備・維持管理を進めます。

その他、観光客に再度訪れたいと思ってもらえるような心地よい接客対応を心掛け、実行していきます。

### (4) 村民の役割

村民は、渡嘉敷村の有する素晴らしい自然環境や歴史文化などの魅力を再認識し、愛着と誇りを持って、これらの観光資源と向き合い、守っていきます。また、観光資源に関する知識を有し、観光客に対して、できる範囲でそれを伝え広め、交流を深めます。

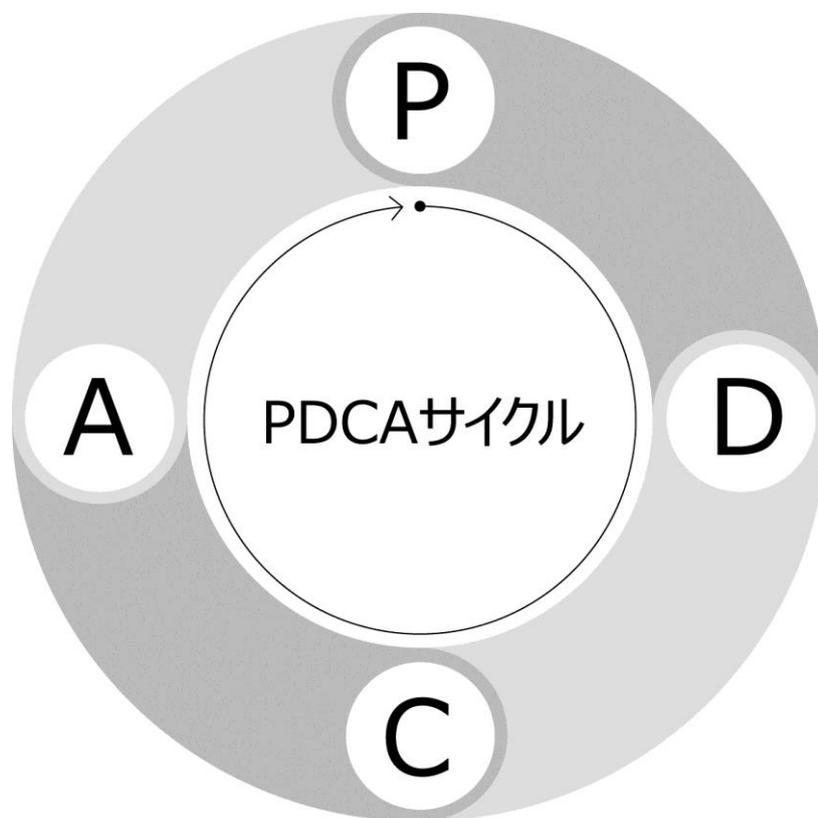
さらに、村民一人ひとりが観光のまちづくりに関わっていることを認識し、観光振興に寄与する取組みに積極的に参画するよう努めます。

### 4 - 3. 進捗管理

計画の進捗管理については、本計画で定めた理念及び目標を達成するため、PDCAサイクルで計画の進行状況を管理し、効果を検証します。

PDCA サイクルとは、まずは計画を立て、その計画を実行し、その効果を確認したあと、必要に応じて改善や見直しを行うといった一連のプロセスを回していく手法です。

本計画の取組みの進行状況並びに効果については商工観光課が担い、適宜検証を行い、中間報告と最終報告を実施する予定です。



Plan	<計画>	: 観光振興計画の作成
Do	<実施>	: 計画に基づく取組みの実施
Check	<確認>	: 目標の達成度、取組みの進捗状況の検証・確認
Act	<改善>	: 取組みの見直し・改善

## 5章 資料

## 5章 資料

### 5-1. 計画策定の経緯

渡嘉敷村観光振興基本計画の策定にあたっては、4回の策定委員会、及び6回の策定準備委員会を開催し、各種検討を行いました。

また、9月には渡嘉敷村関係各課および観光事業者へのヒアリングを実施し、観光に関わる取組みについて確認したほか、平成29年12月26日から平成30年1月8日にかけての2週間はパブリックコメントを行い、その結果を第4回策定委員会で確認・検討し、最終的な「渡嘉敷村観光振興計画」を決定しました。

■策定スケジュール

年	月	策定委員会	策定準備委員会	その他	検討内容	
平成29年	6	第1回	第1回		現状課題共有	
	7		第2回		理念方針	
	8		第3回			
	9			関係各課等ヒアリング	施策取組み	
	10		第4回			
	11		第2回	第5回	ヒアリング	計画(素案)
			同時開催	第6回		
12	第3回				計画(案)	
平成30年	1	第4回		パブリックコメント	最終調整	
	2	渡嘉敷村観光振興計画				

## 5 - 2. 計画策定の策定委員

策定委員会は、村内の多様な関係者の意見を反映させるため、観光に関わる渡嘉敷村役場関係各課、議会事務局、国立沖縄青少年交流の家、渡嘉敷村商工会、渡嘉敷漁業協同組合、各区長、青年会、民間企業等により組織されました。

また、実際の計画案を検討するワーキンググループとして策定準備委員会を設け、観光関連団体で構成したほか、村内からメンバーを一般公募し、集まった村内観光関連事業者を中心に計画案の検討を進めました。

### (1) 策定委員会

策定委員会の設置要綱及びメンバーは以下のとおりとなります。

#### ① 策定委員会設置要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、渡嘉敷村観光振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置し、渡嘉敷村観光振興計画を策定することを目的とする。

(所掌事務)

第 2 条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 観光振興計画の策定に関すること。
- (2) その他観光振興計画策定に必要な事項に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 15 名以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者の内から村長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 観光事業の運営その他観光に関し見識を有する者
- (3) 行政
- (4) 前各号に掲げる者のほか、村長が特に必要と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は、村長が委嘱した日から実施計画を村長に提言するまでとする。ただし、再任することを妨げない。委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第 5 条 委員会の事務局は、商工観光課に置く。

2 事務局員は村長が委嘱する。

3 事務局に事務局長及び事務局員を置く。

(委員長及び副委員長)

第 6 条 委員会に委員長 1 名、副委員長 1 名を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

- 第 7 条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、最初に開かれる会議については、本条の規定にかかわらず村長が招集する。
- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(意見の聴取)

- 第 8 条 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(その他)

- 第 9 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

## ②策定委員会名簿

No.	役 職	氏 名	所属・役職
1	委員長	大城 良孝	渡嘉敷村 副村長
2	副委員長	神里 敏明	渡嘉敷村 総務課長
3	委員	金城 満	渡嘉敷村 民生課長
4		新垣 聡	渡嘉敷村 経済建設課長
5		島村 清	渡嘉敷村 船舶課長
6		我喜屋 元作	渡嘉敷村 会計課長
7		座間味 秀勝	渡嘉敷村 教育課長
8		新里 武広	渡嘉敷村 議会事務局長
9		三田井 裕	国立沖縄青少年交流の家 所長
10		新垣 徹	渡嘉敷村商工会 会長
11		島村 武	渡嘉敷漁業協同組合 組合長
12		稲盛 清昭	渡嘉敷区長
13		金城 健一	阿波連区長
14		宮平 鉄一郎	渡嘉敷村青年会 会長
15		神谷 和幸	株式会社 JTB 沖縄 交流営業課長

## (2) 策定準備委員会

策定準備委員会の設置要綱及びメンバーは以下のとおりとなります。

### ①策定準備委員会設置要綱

#### (趣旨)

第1条 この要綱は、渡嘉敷村観光振興計画（以下「計画」という。）策定に係る準備に関し必要な事項を検討するため、渡嘉敷村観光振興計画策定準備委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

#### (所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 計画策定のための調査、分析に関する事項。
- (2) その他計画策定に必要な事項に関すること。

#### (組織)

第3条 委員会は、委員12名以内で組織する。

- 2 委員は、識見者、観光関係者、公募委員及び行政関係者その他村長が必要と認める者のうちから村長が委嘱する。

#### (任期)

第4条 委員の任期は、村長が委嘱した日から計画策定の日までとする。

#### (委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長1名、副委員長1名を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

#### (会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。ただし、最初に開かれる会議については、本条の要綱にかかわらず村長が招集する。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

#### (事務局)

第7条 委員会の事務局は、商工観光課に置く。

#### (意見の聴取)

第8条 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

#### (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

#### 附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

②策定準備委員会名簿

No.	役職	氏名	所属・役職
1	委員長	小嶺 哲雄	渡嘉敷村 商工観光課長
2	副委員長	小嶺 国土	渡嘉敷村 船舶課長補佐
3	委員	水澤 豊子	国立沖縄青少年交流の家 次長
4		中馬 直樹	渡嘉敷村商工会 指導員
5		金城 悦男	渡嘉敷漁業協同組合 参事
6		国吉 晴大	宿泊マリン事業者
7		吉崎 誠	マリンスポーツ事業者
8		金城 渉	宿泊事業者
9		金城 肇	宿泊マリン事業者
10		池松 来	マリン事業者
11		長谷 和典	ダイビング事業者
12		花咲 宏基	株式会社ライヴス 事業部長

### 5 - 3. パブリックコメントでの意見

パブリックコメントで出された意見は以下のとおりとなります。

● □□について

No.	項目	内容	投稿者
1			
2			
3			
4			

● □□について

No.	項目	内容	投稿者
1			
2			
3			
4			

● □□について

No.	項目	内容	投稿者
1			
2			
3			
4			



# 渡嘉敷村観光振興計画

平成 30 年 2 月

沖縄県 渡嘉敷村



渡嘉敷村観光振興計画

平成 30 年 2 月 渡嘉敷村